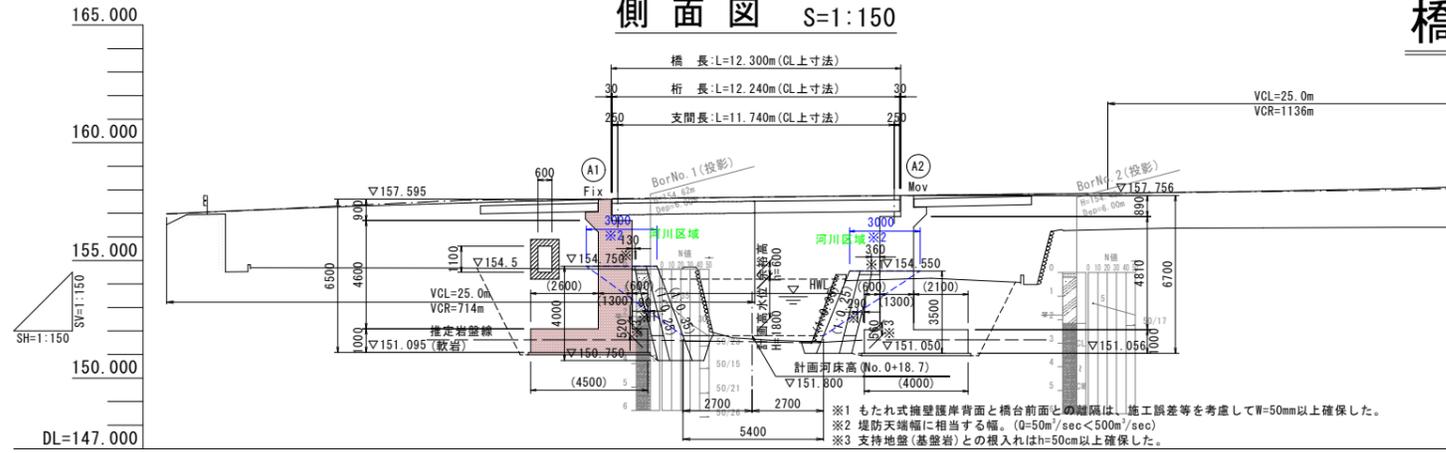


橋梁一般図

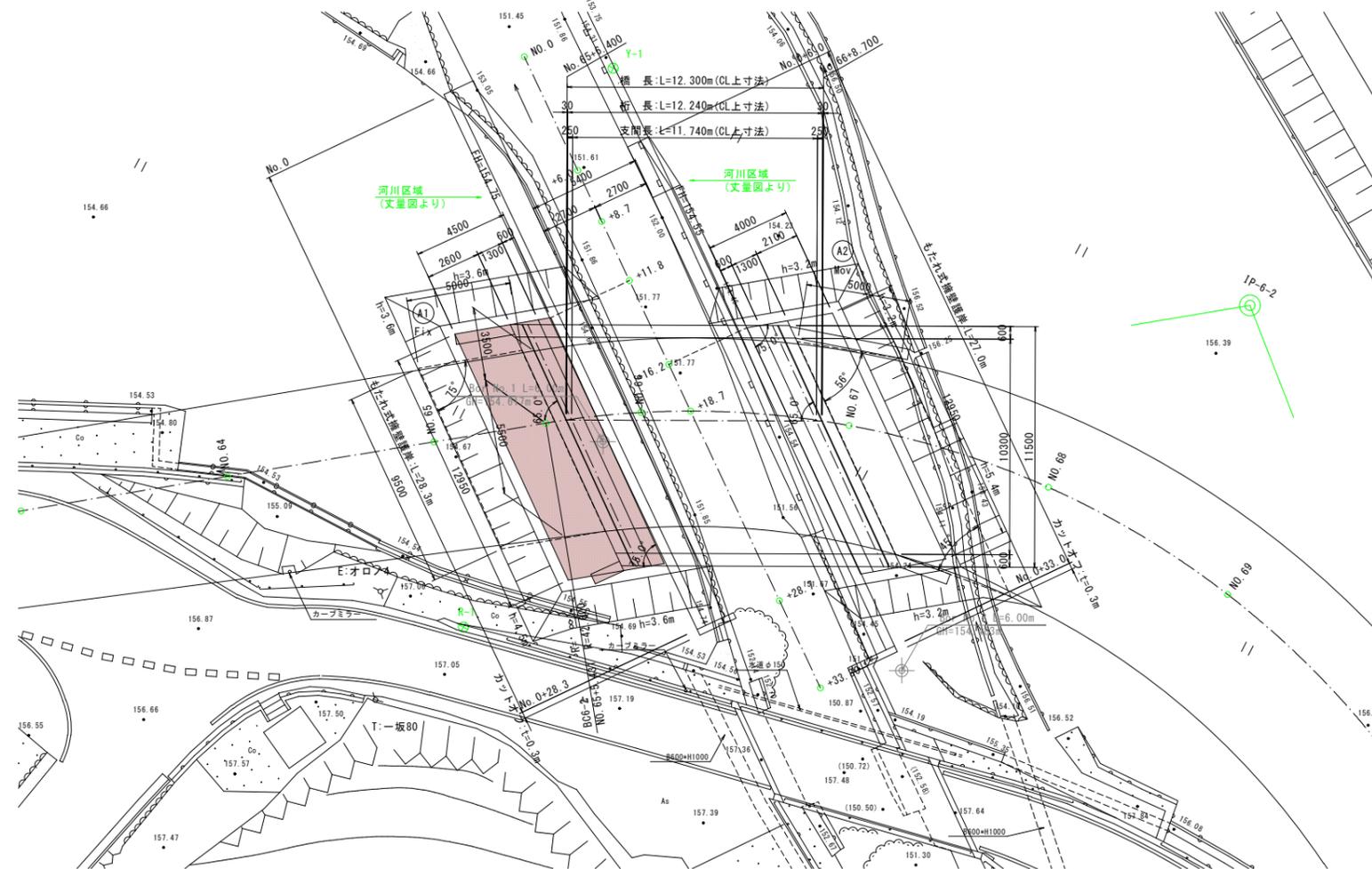
側面図 S=1:150



勾配	i=4.600% L=25.000m		i=1.100% L=40.000m		i=3.300% L=30.000m		
計画高	157.086	157.441	157.656	157.770	157.883	158.990	
地盤高	156.967	157.441	154.633	154.720	156.386	156.383	
点間距離	10.000	5.431	4.569	10.000	4.089	5.911	
測点	NO. 64	NO. 65	BC 6-2 NO. 65 +5.431	NO. 66	NO. 67	SP 6-2 NO. 68 +4.089	NO. 69
曲線	IP: 6-2 TL: 34.127 IA: 78° 11' 25" CL: 57.316 R: 42.000 SL: 12.117						
片勾配	+5.0% (左側)	+6.0% (左側)	+8.0% (右側)	+6.0% (左側)	+6.0% (右側)		
拡幅	KE: 6-1-2 (No. 61+3.000) 0.25m (右側)						

設計条件			
橋の重要度	A種	地盤種別	I種
道路規格	第3種4級 V=30 km/h		
橋長	12.300m		
桁長	12.240m		
支間長	11.740m		
形式	上部工	PC単純プレテンションホロー桁 (BS12)	
	下部工	逆T式橋台	
	基礎工	直接基礎	
幅員構成	10.300m (全幅 11.500m)		
斜角	A1橋台 右 65° 00' 00"、A2橋台 右 65° 00' 00"		
横断勾配	6.000%		
縦断勾配	1.100%		
設計水平震度	躯体 A1	Kh = 0.20	A2 Kh = 0.20
	土砂 A1	Kh = 0.16	A2 Kh = 0.16
舗装	アスファルト舗装 75mm		
活荷重	B活荷重		
材料強度	上部工	コンクリート	50 N/mm ² (場所打ち部) 30 N/mm ²
	下部工	コンクリート	24 N/mm ²
鉄筋	SD345		
適用示方書	道路橋示方書-同解説 I.111. IV. V (H29.11)		

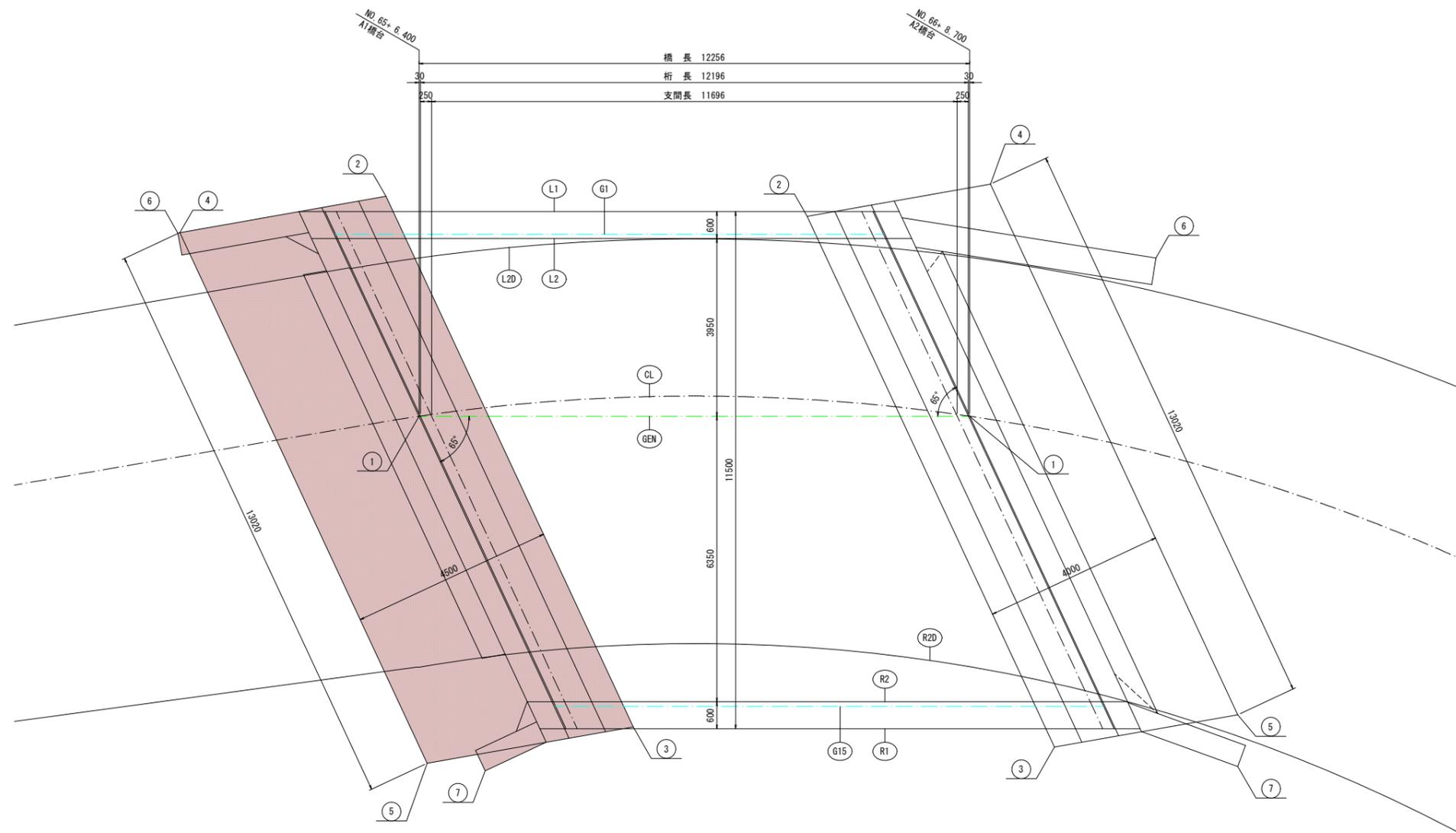
平面図 S=1:150



実施設計図面

工事名	R7 徳士 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂 (第1分割)		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	S=1:150	図面番号	1 / 15
会社名			
事業者名	東部県土整備局<徳島>		

下部工座標図 S=1:60



A1橋台

		X	Y
躯体	①	112086.4871	85029.5283
	②	112091.4332	85029.4536
	③	112079.0025	85033.3265
	④	112091.2458	85024.7987
	⑤	112078.8151	85028.6716
	⑥	112091.2441	85024.7555
	⑦	112078.4772	85029.9290
支承	G1	112090.7160	85028.4765
	CL	112086.4894	85029.7933
	G15	112079.6549	85031.9227

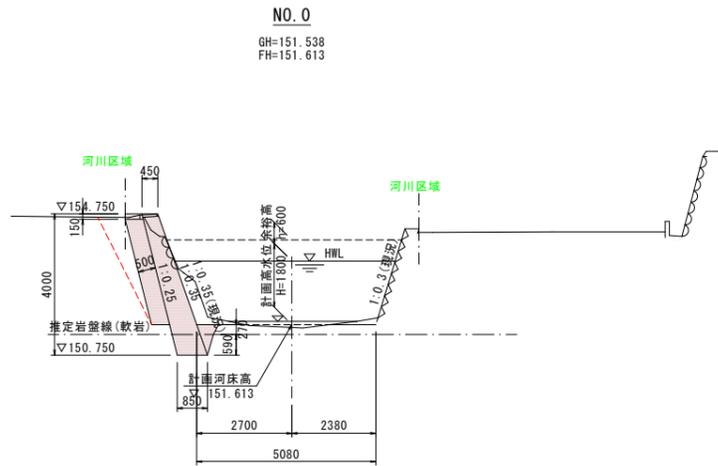
A2橋台

		X	Y
躯体	①	112084.8459	85041.6740
	②	112089.7323	85038.6852
	③	112077.3016	85042.5581
	④	112089.8988	85042.8230
	⑤	112077.4682	85046.6959
	⑥	112087.7793	85046.2538
	⑦	112076.3283	85046.5438
支承	G1	112089.1498	85040.0673
	CL	112084.9289	85041.3824
	G15	112078.0888	85043.5135

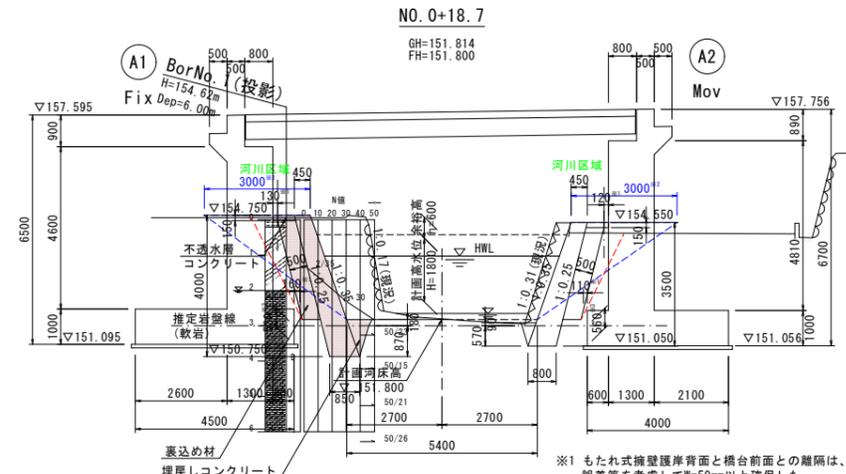
実施設計図面

工事名	R7 徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	下部工座標図		
縮尺	S=1:60	図面番号	2 / 15
会社名			
事業者名	東部県土整備局<徳島>		

河川横断図 S=1:100



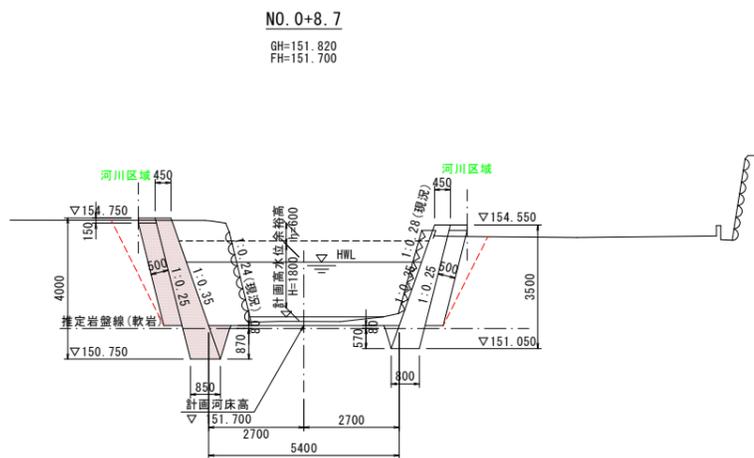
名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	3.6	-
床掘 B 軟岩	0.9	-
床掘 B' 土砂	1.2	-
埋戻 W1<1.0m	1.2	-
埋戻コンクリート	0.25	-
コンクリート取壊し	-	-
石積取壊し	1.32	-



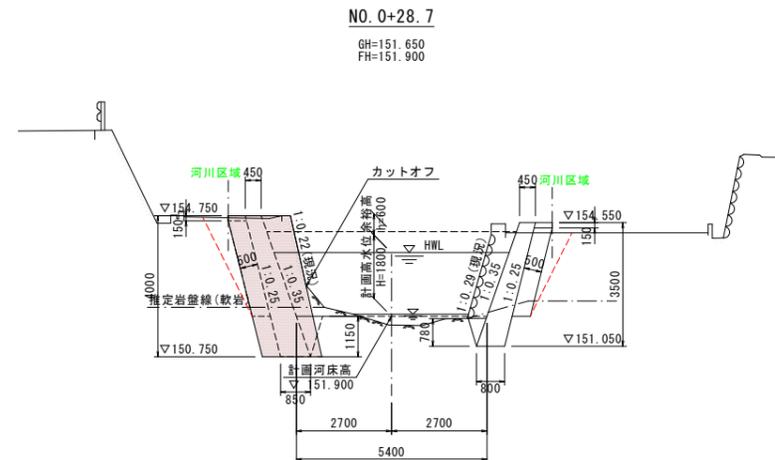
名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	6.5	2.5
床掘 B 軟岩	1.2	0.5
床掘 B' 土砂	1.0	0.7
埋戻 W1<1.0m	1.0	0.7
埋戻コンクリート	0.36	0.14
コンクリート取壊し	-	1.5
石積取壊し	2.79	-

DL=145.000

DL=145.000



名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	6.8	2.9
床掘 B 軟岩	1.1	0.6
床掘 B' 土砂	1.1	0.8
埋戻 W1<1.0m	1.1	0.8
埋戻コンクリート	0.29	0.14
コンクリート取壊し	-	1.0
石積取壊し	2.94	-



名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	5.3	3.4
床掘 B 軟岩	1.3	0.7
床掘 B' 土砂	1.0	0.7
埋戻 W1<1.0m	1.0	0.7
埋戻コンクリート	0.43	0.20
コンクリート取壊し	-	0.1
石積取壊し	-	2.78

DL=145.000

DL=145.000

河川条件	
検討年度	令和2年度
河川名	大地谷川
指定地等	指定地等該当なし
確率年	1/30
計画流量	Q=50m ³ /sec (Q=49.9m ³ /sec)
河床勾配	i=1/100
粗度係数	コンクリート:0.015 河床:0.027
計画高水位	H=1.80m (H=1.721m)
余裕高	h=0.60m (Q<200m ³ /sec)

設計条件: もたれ式擁壁護岸

擁壁本体	擁壁高 H≦4.0m
	コンクリート設計強度 σ _{ck} ≧18N/mm ²
	コンクリート単位体積重量 γ _c =23.0kN/m ³
荷重	上載荷重 q=0.0kN/m ² (耕作地のため無し)
	水位 H=2.95m(HWL:h=1.8m)
盛土材	種別 礫質土:C1材相当(購入土)
	単位体積重量 γ _t =20.0kN/m ³
	内部摩擦角 φ=35.0°
	粘着力 c=0.0kN/m ²
支持地盤	種別 軟岩:D級~CL級(調査ボーリング結果)
	摩擦係数 μ=0.70(岩盤)
	付着力 c=0.0kN/m ²
	地盤反力度 q _a =300.0kN/m ² (軟岩)
設計基準	(社)日本道路協会:道路土工 擁壁工指針 平成24年7月

留意事項

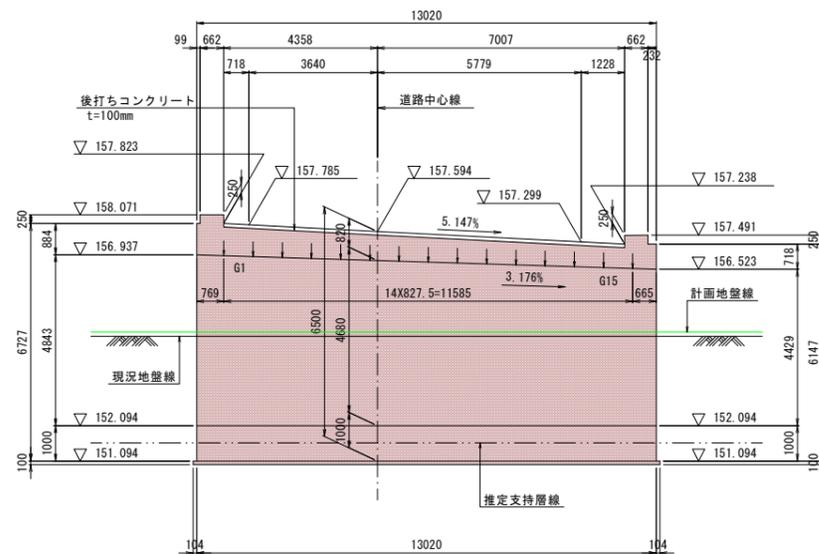
- 設計条件を変更する場合は、監督員と協議を行い設計計算を実施すること。
- 盛土材は、設計定数を満足する材料を使用すること。
(購入土以外の場合は、土質試験を実施し設計定数を確認すること。)

実施設計図面

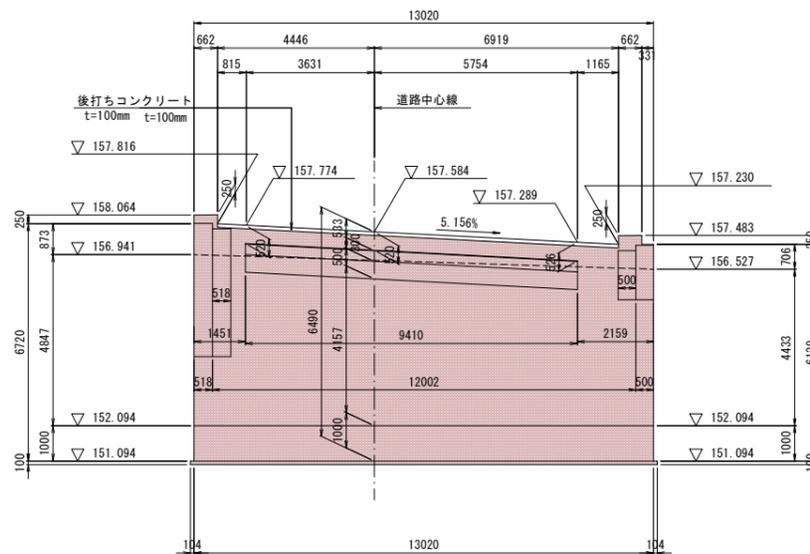
工事名	R7 徳士 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)
路線名等	鬼籠野国府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)
図面名	河川横断図
縮尺	S=1:100 図面番号 3 / 15
会社名	
事業者名	東部県土整備局<徳島>

A1橋台構造一般図(その1) S=1:100

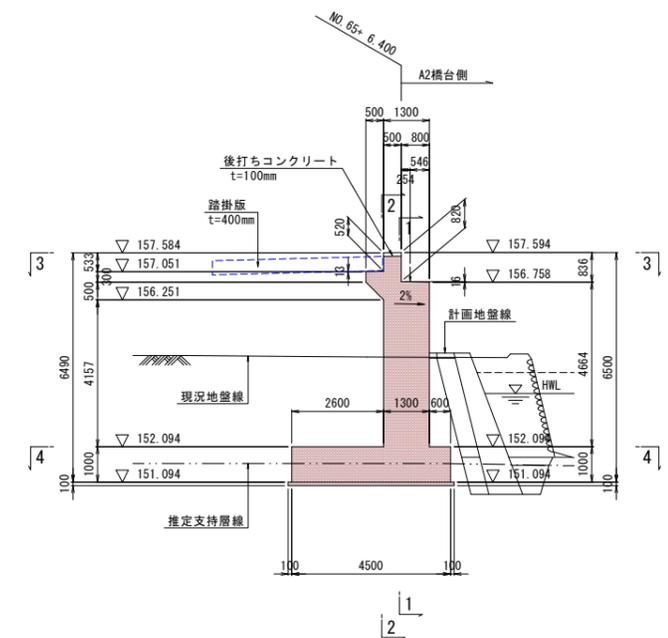
1 - 1



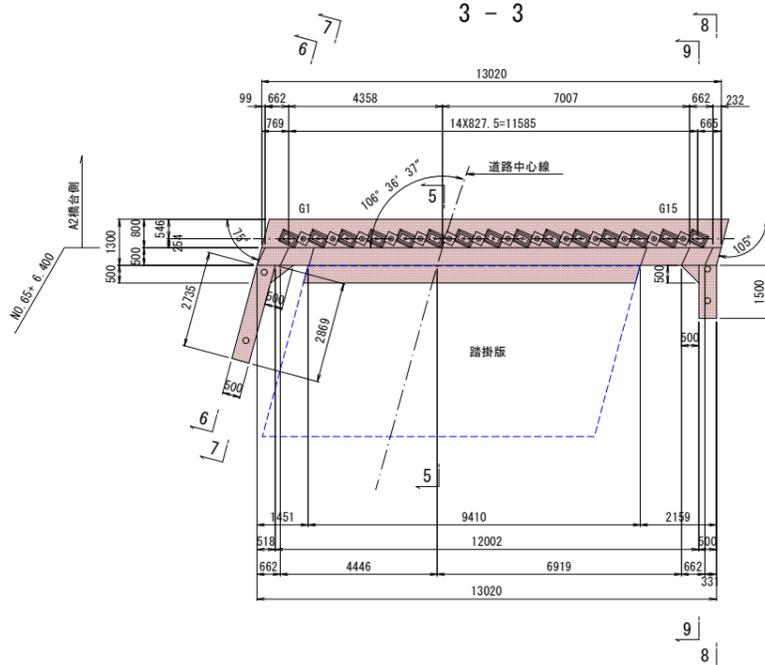
2 - 2



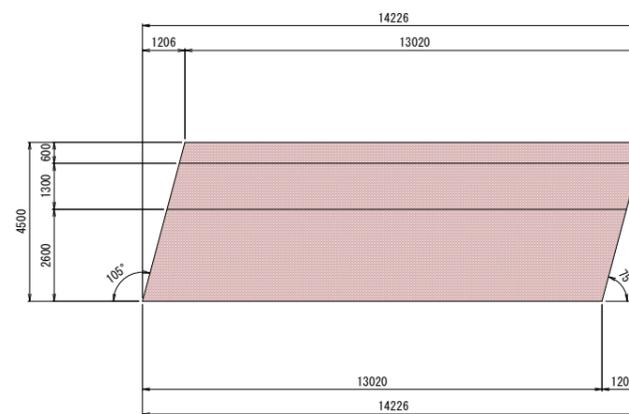
5 - 5



3 - 3

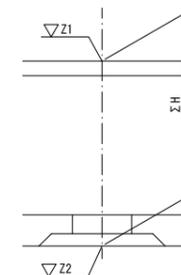


4 - 4



下部工構造高表 (A1)

		G1	CL	G15
計画路面高	▽Z1	158.075	157.600	157.492
舗装厚	t1	0.557	0.222	0.342
桁高	t2	0.500	0.500	0.500
支承高	t3	0.068	0.068	0.068
モルタル厚	t4	0.043	0.043	0.043
構造高	ΣH	1.168	0.833	0.953
下部工天端高	▽Z2	156.907	156.767	156.539

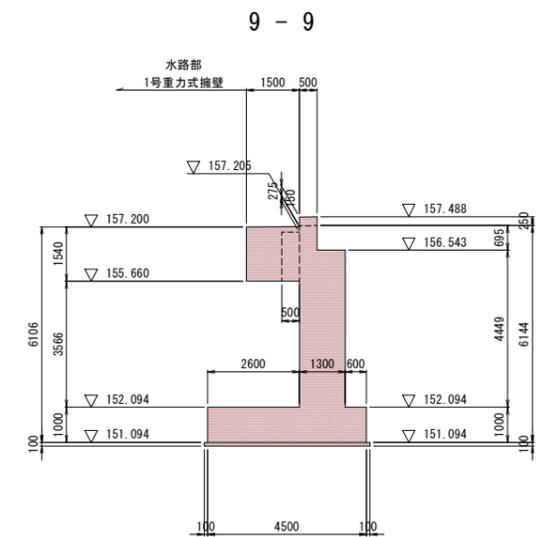
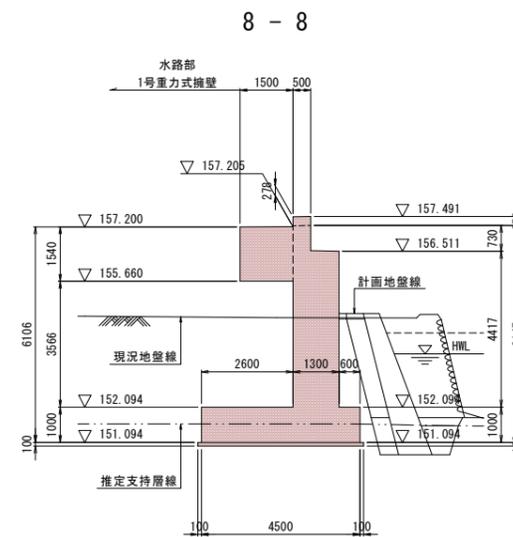
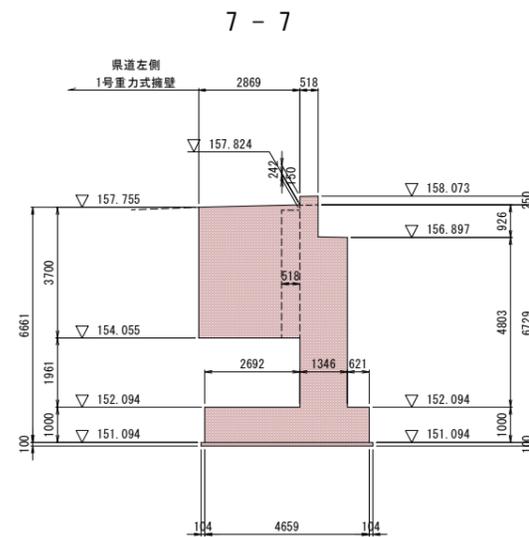
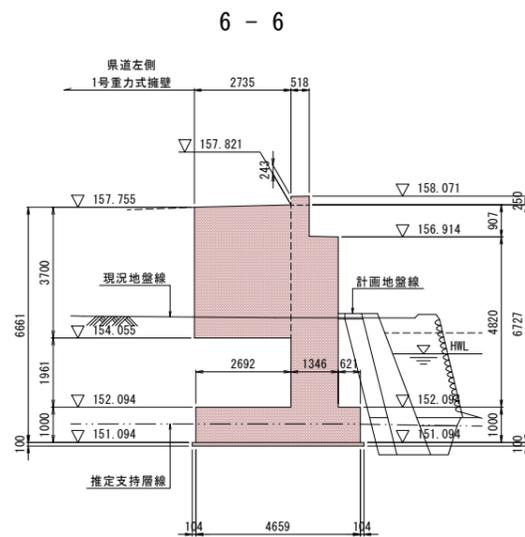


実施設計図面

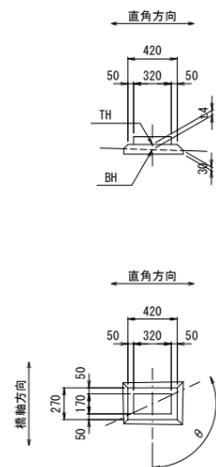
工事名	R7 徳士 鬼籠野国府線 神・鬼籠野ノ坂 橋梁下部工事(1)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野ノ坂(第1分割)		
図面名	A1橋台構造図(1)		
縮尺	S=1:100	図面番号	4 / 15
会社名			
事業者名	東部県土整備局<徳島>		

使用材料	躯体	コンクリート	胸壁、堅壁	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
			翼壁、地覆	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
			底板	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
			鉄筋	SD345
		均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
	裏込材		$\gamma=19\text{kN/m}^3, \phi=30^\circ$	

A1橋台構造一般図(その2) S=1:100



沓座箱抜詳細図 S=1:30

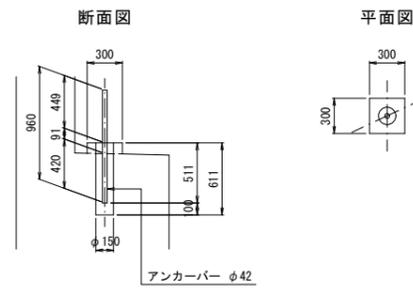


数值表 (A1)

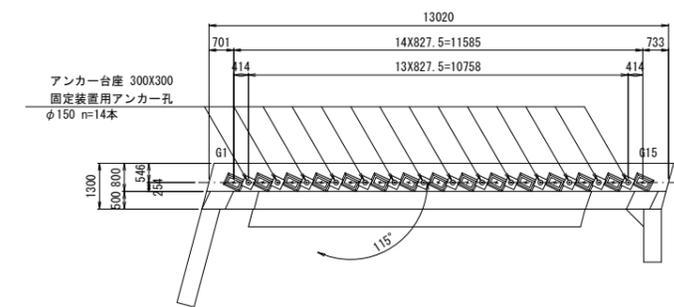
	G1	CL	G15
θ	115° 00' 00"	115° 00' 00"	115° 00' 00"
TH	156.950	156.810	156.582
BH	156.907	156.767	156.539
t4	43	43	43

アンカー台座詳細図 S=1:30

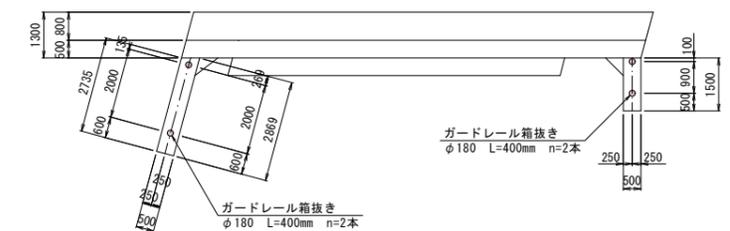
(14箇所)



沓-アンカー配置図



ガードレール箱抜き位置図

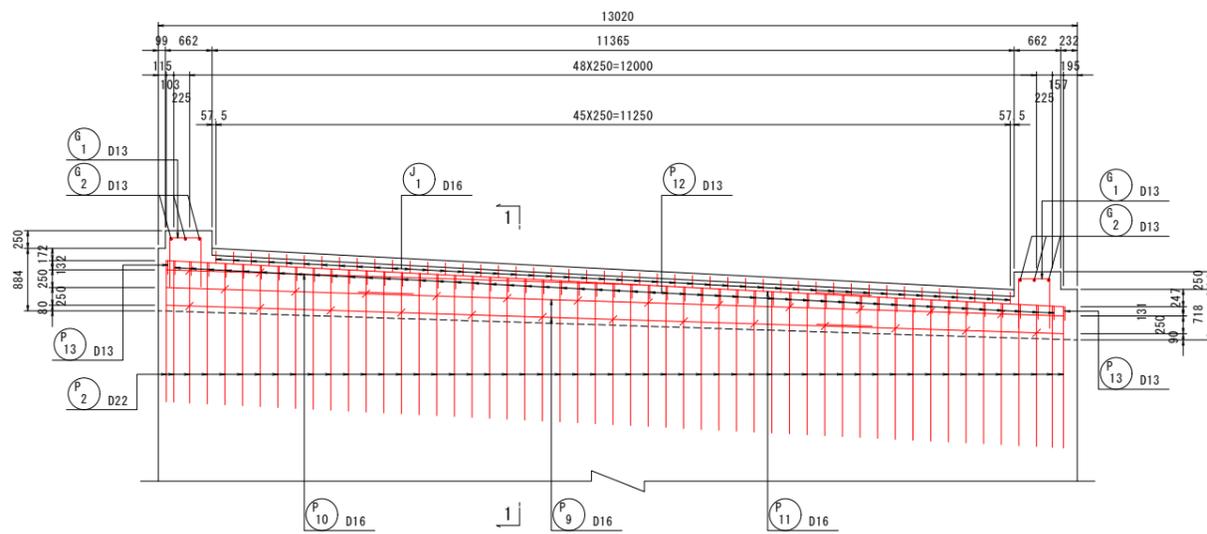


実施設計図面

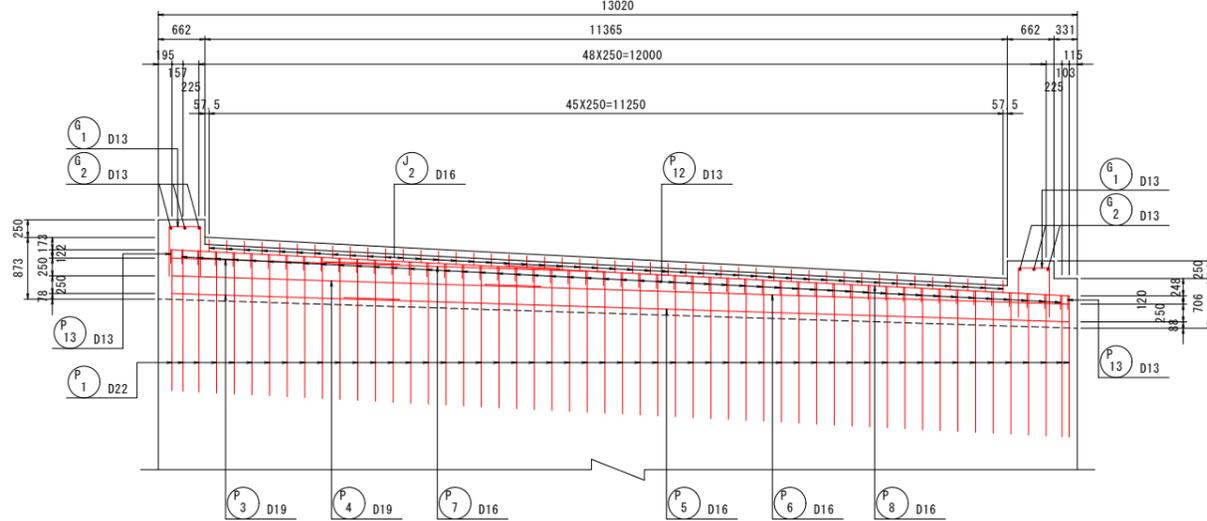
工事名	R7 徳士 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)
路線名等	鬼籠野国府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)
図面名	A1橋台構造図(2)
縮尺	S=図示 図面番号 5 / 15
会社名	
事業者名	東部県土整備局<徳島>

A1橋台配筋図(その1) S=1:50

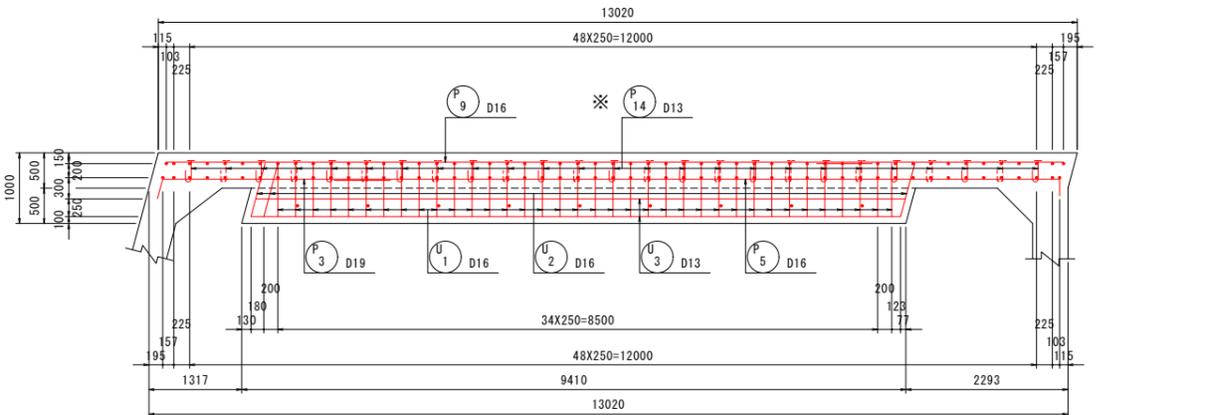
2 - 2



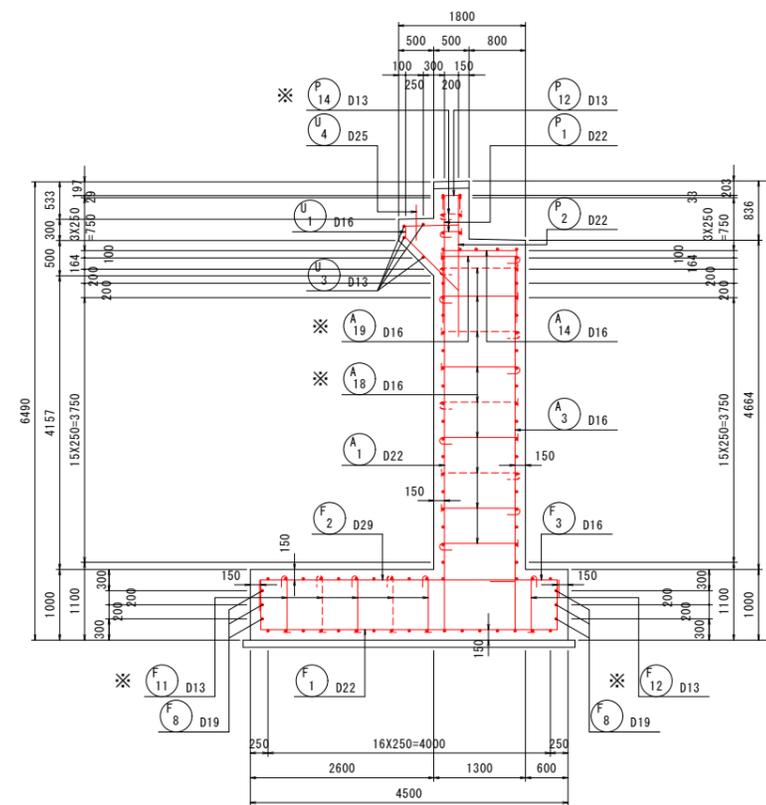
3 - 3



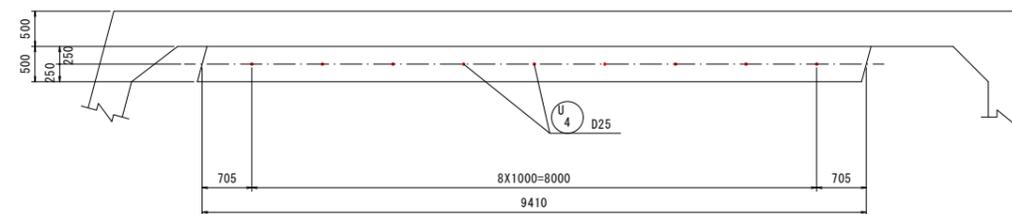
4 - 4



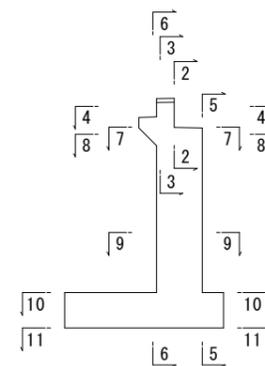
1 - 1



ずれ止め鉄筋配置図

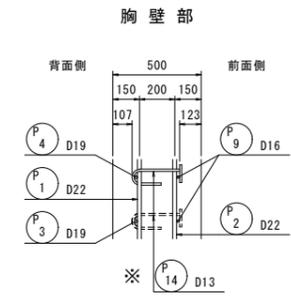


位置図

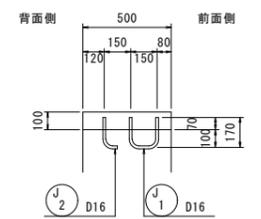


注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 1. 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
 注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

かぶり詳細図 S=1:20



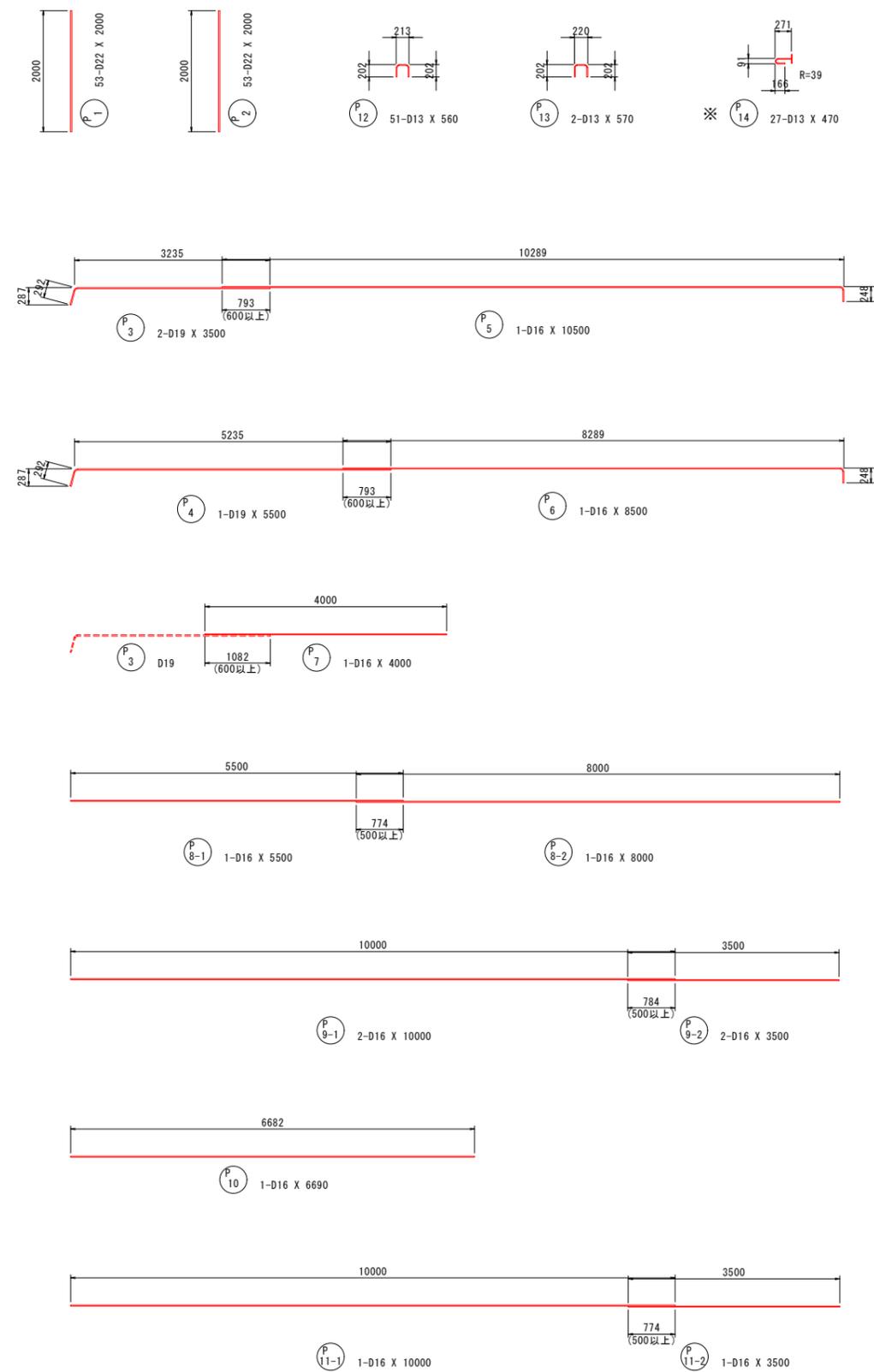
伸縮部詳細図 S=1:20



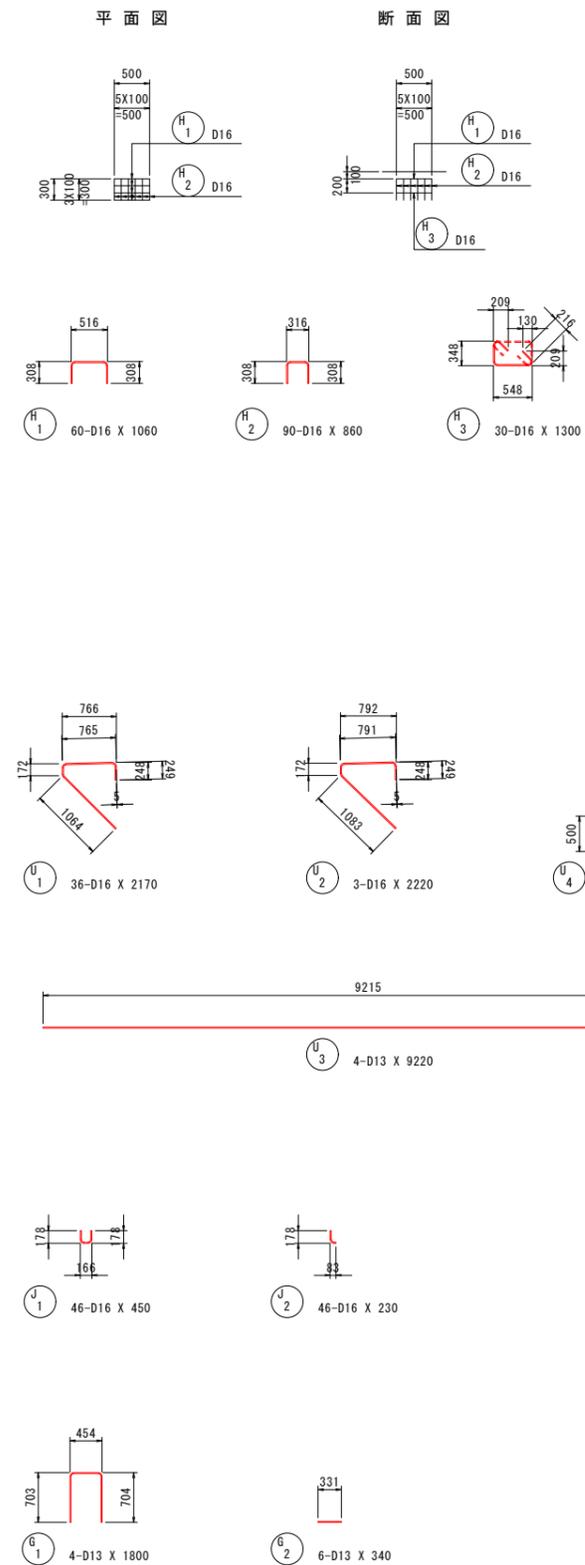
実施設計図面

工事名	R7 徳士 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)
路線名等	鬼籠野国府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)
図面名	A1橋台配筋図(1)
縮尺	S=図示 図面番号 6 / 15
会社名	
事業者名	東部県土整備局<徳島>

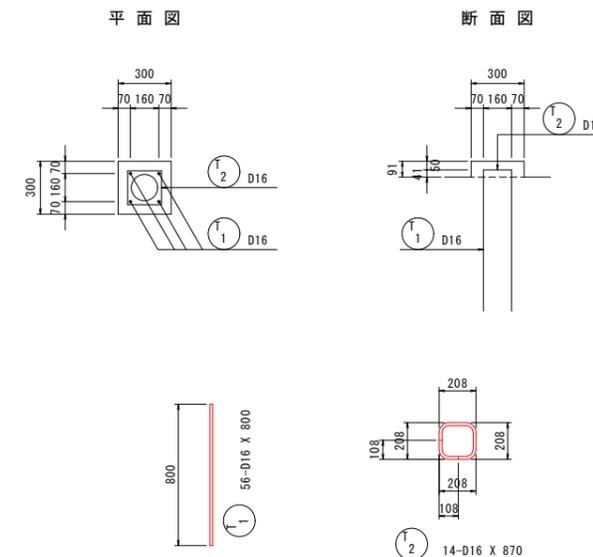
A1橋台配筋図(その2) S=1:50



杓座補強筋 (15箇所)



アンカー台座配筋図 S=1:20 (14箇所)



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 1. 道路標示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
 注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

実施設計図面

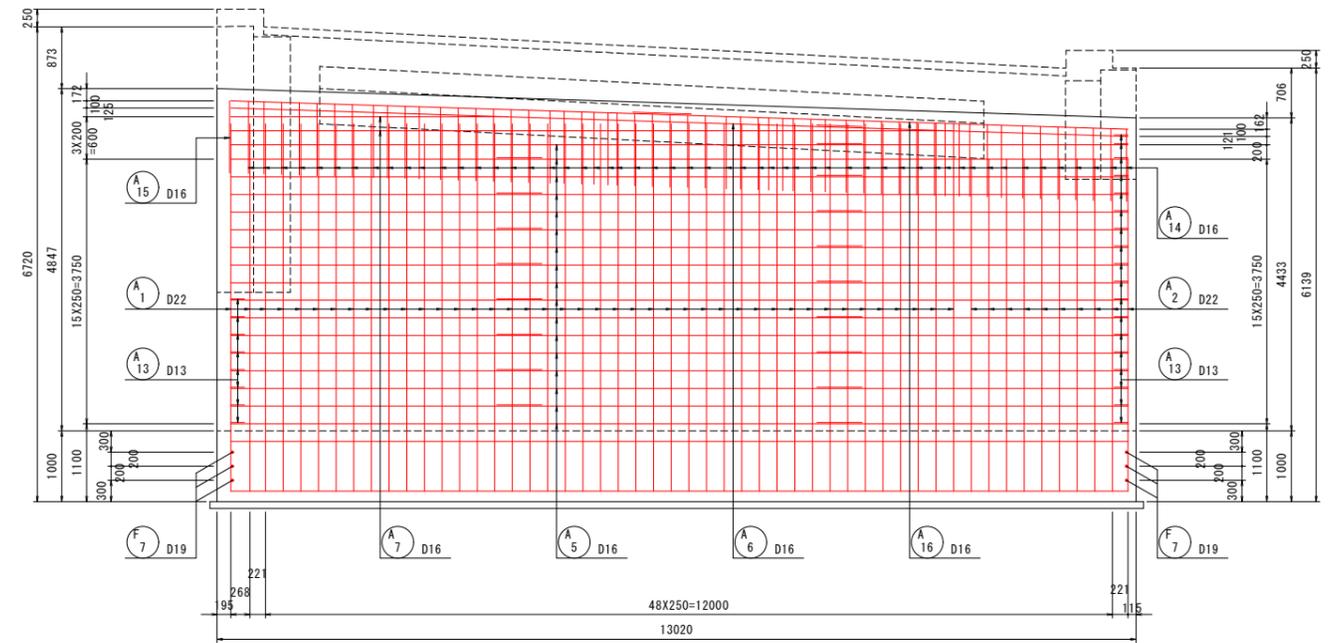
工事名	R7 徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野一ノ坂 (第1分割)		
図面名	A1橋台配筋図(2)		
縮尺	S=1:50	図面番号	7 / 15
会社名			
事業者名	東部県土整備局<徳島>		

A1橋台配筋図(その3) S=1:50

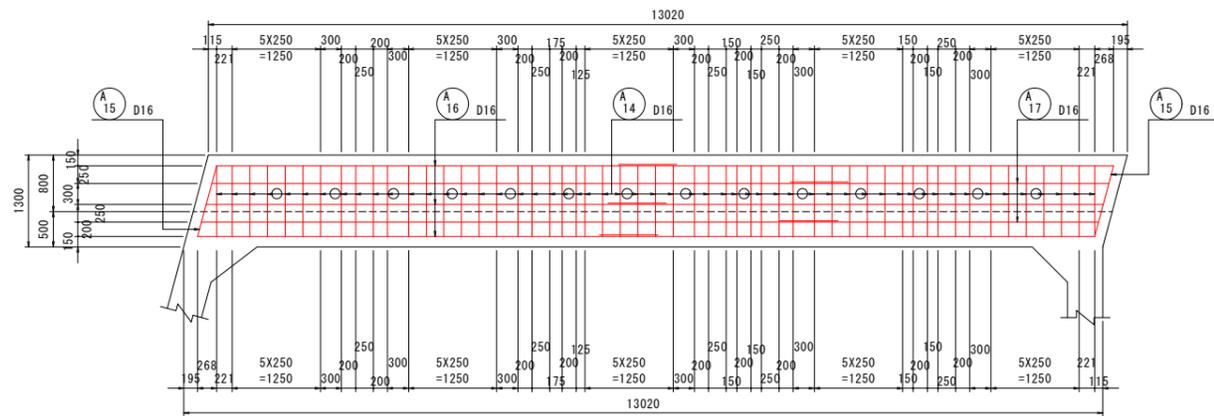
5 - 5



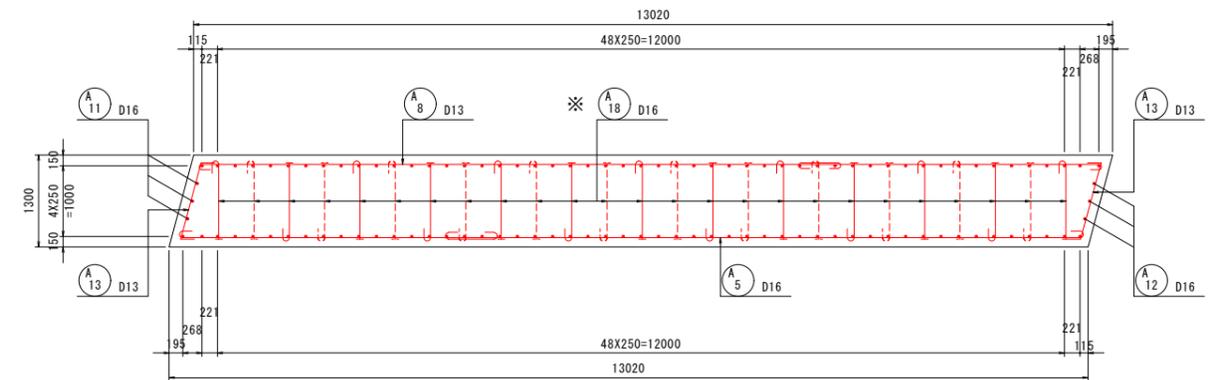
6 - 6



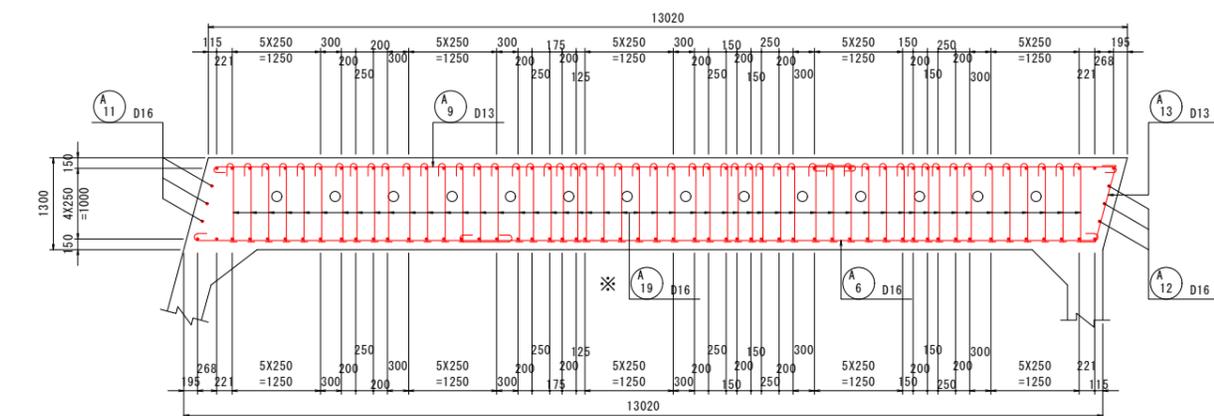
7 - 7



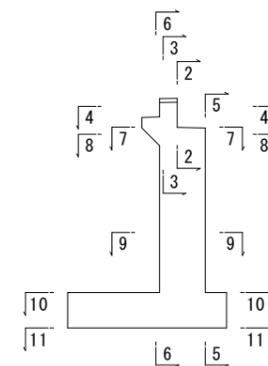
9 - 9



8 - 8



位置図

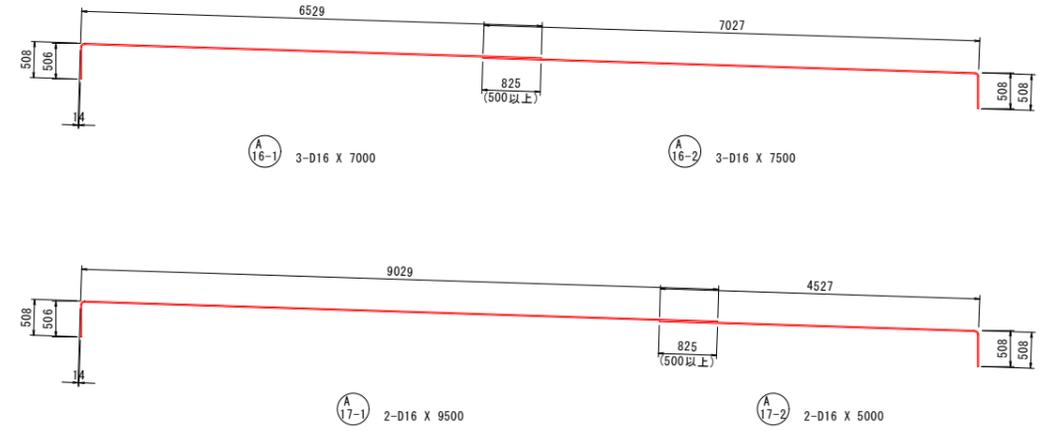
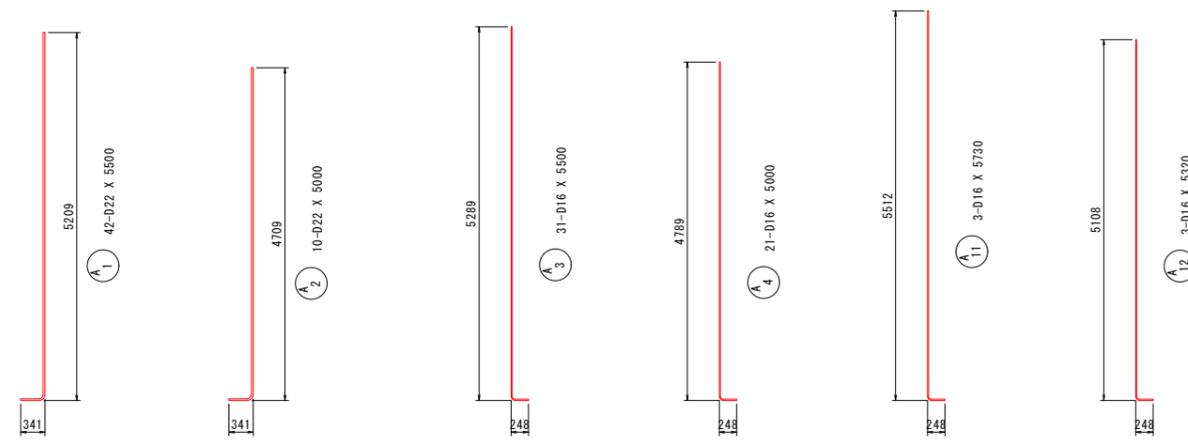


注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 1. 道路標示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
 注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

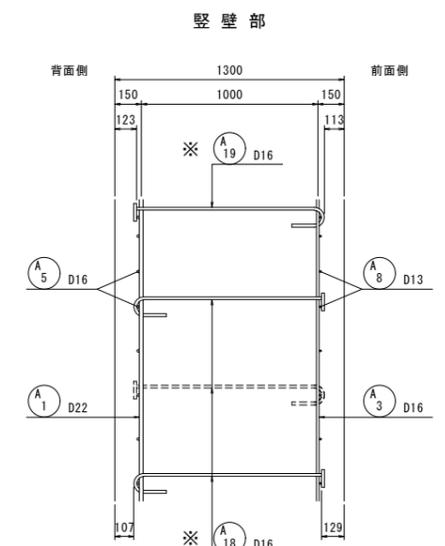
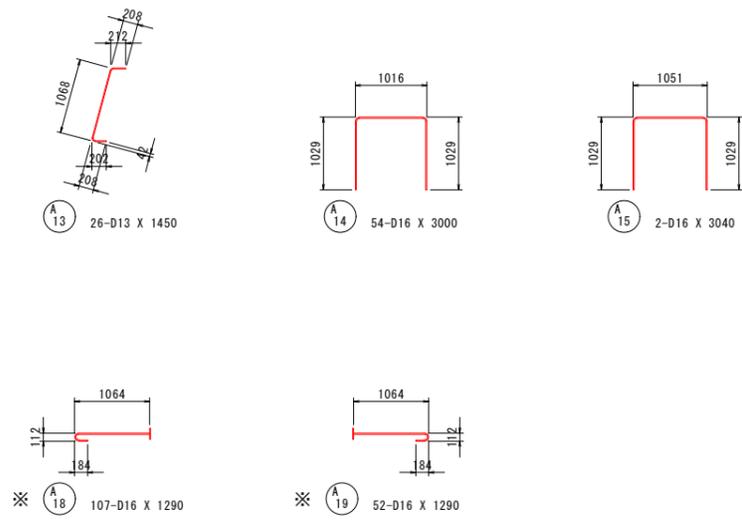
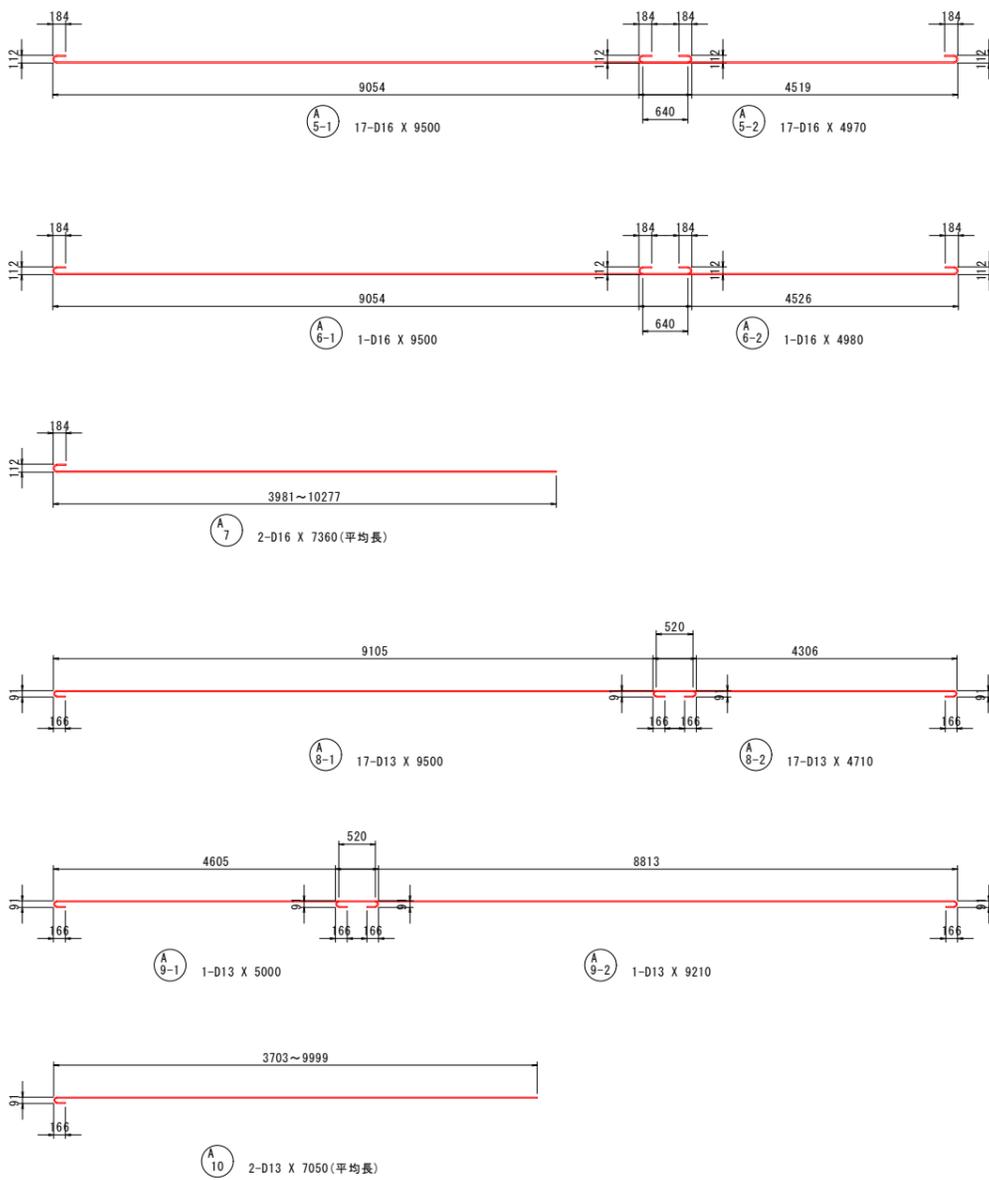
実施設計図面

工事名	R7 徳士 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	A1橋台配筋図(3)		
縮尺	S=1:50	図面番号	8 / 15
会社名			
事業者名	東部県土整備局<徳島>		

A1橋台配筋図(その4) S=1:50



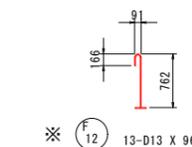
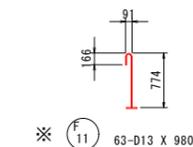
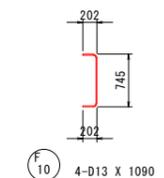
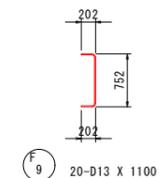
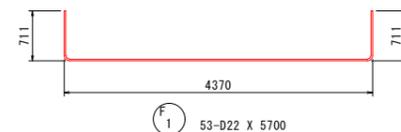
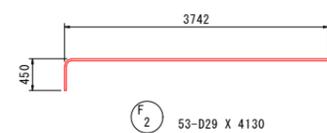
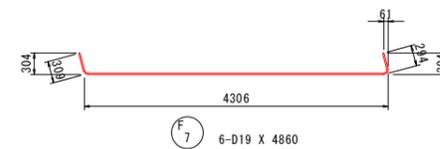
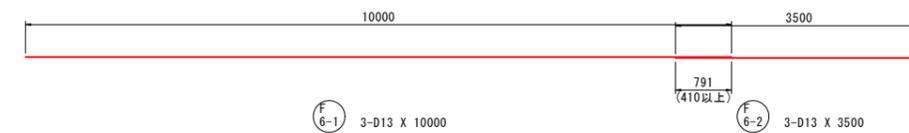
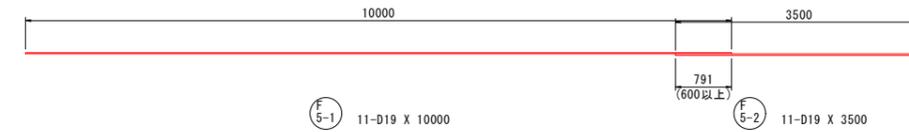
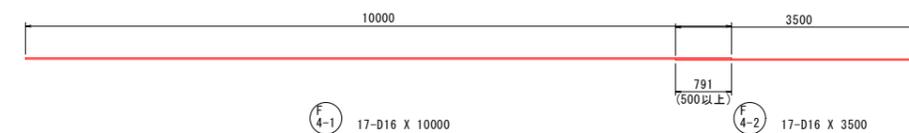
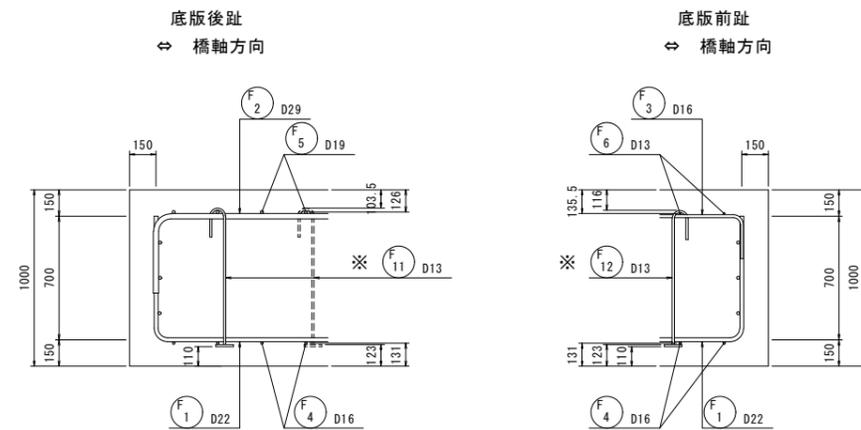
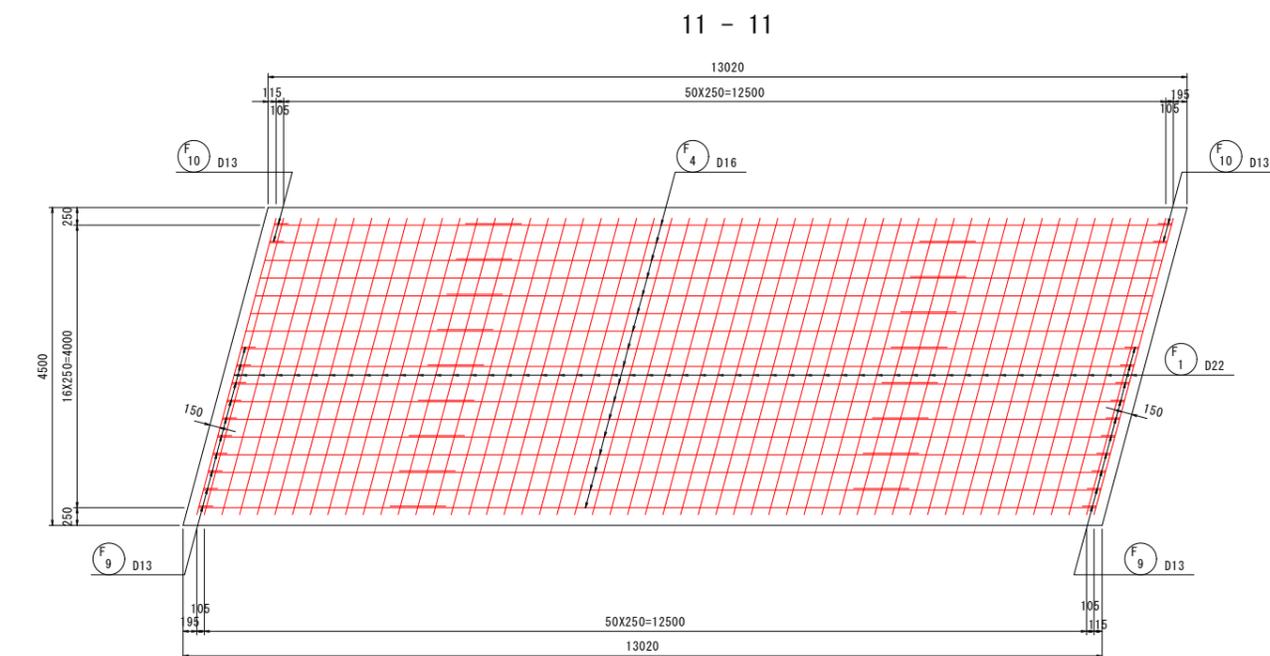
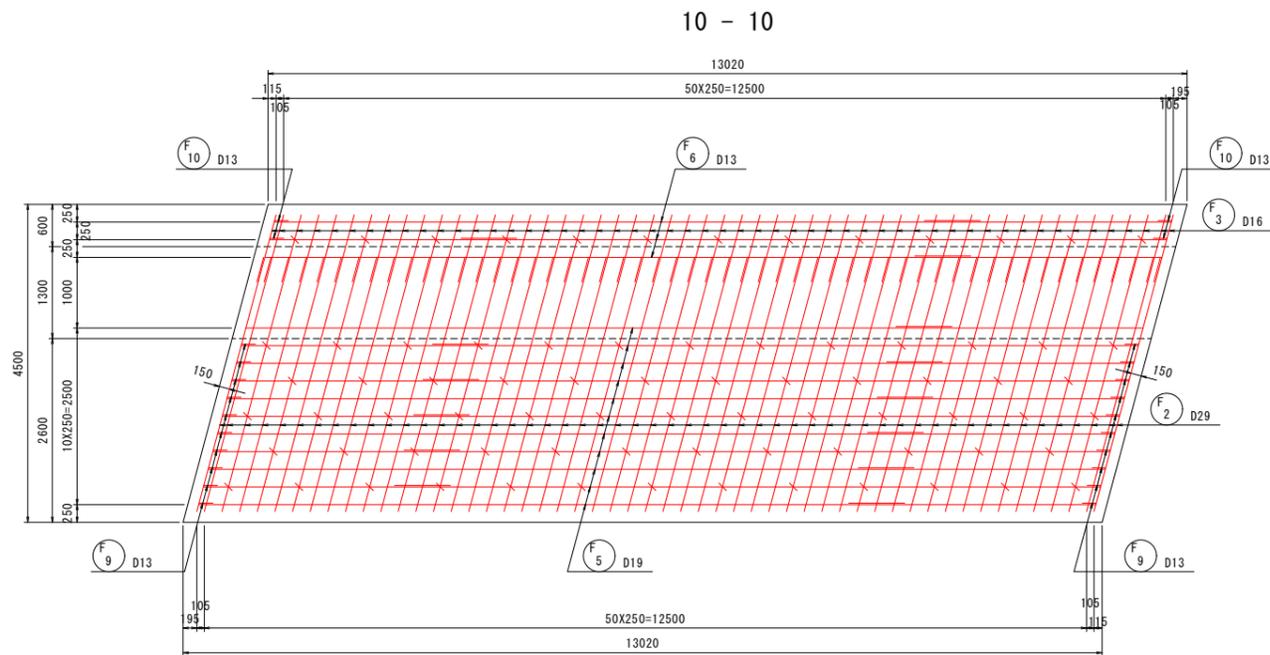
かぶり詳細図 S=1:20



実施設計図面			
工事名	R7 徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	A1橋台配筋図(4)		
縮尺	S=図示	図面番号	9 / 15
会社名			
事業者名	東部県土整備局<徳島>		

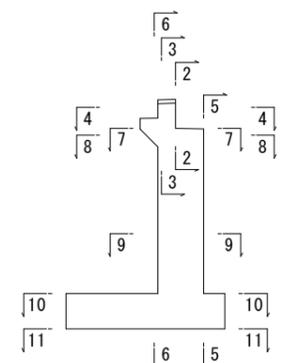
A1橋台配筋図(その5) S=1:50

かぶり詳細図 S=1:20



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 1. 道路標示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
 注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

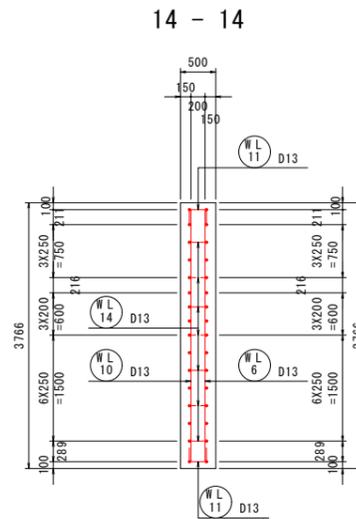
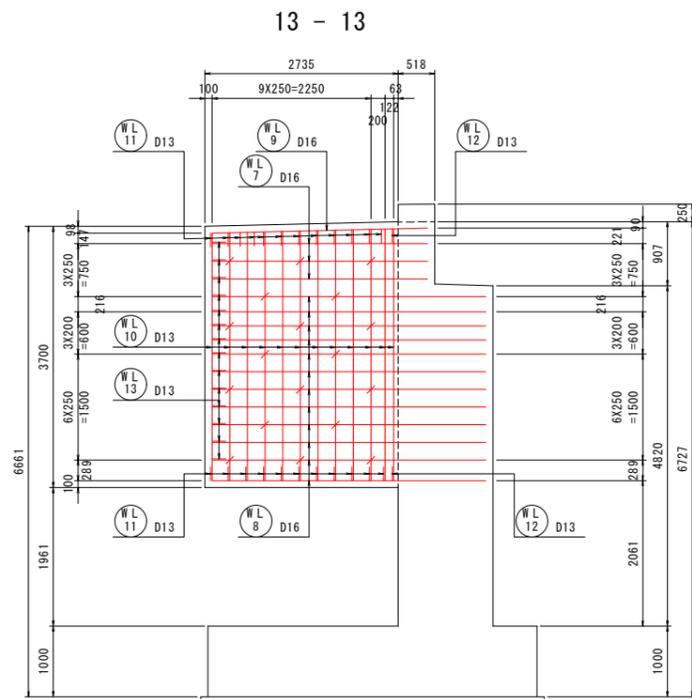
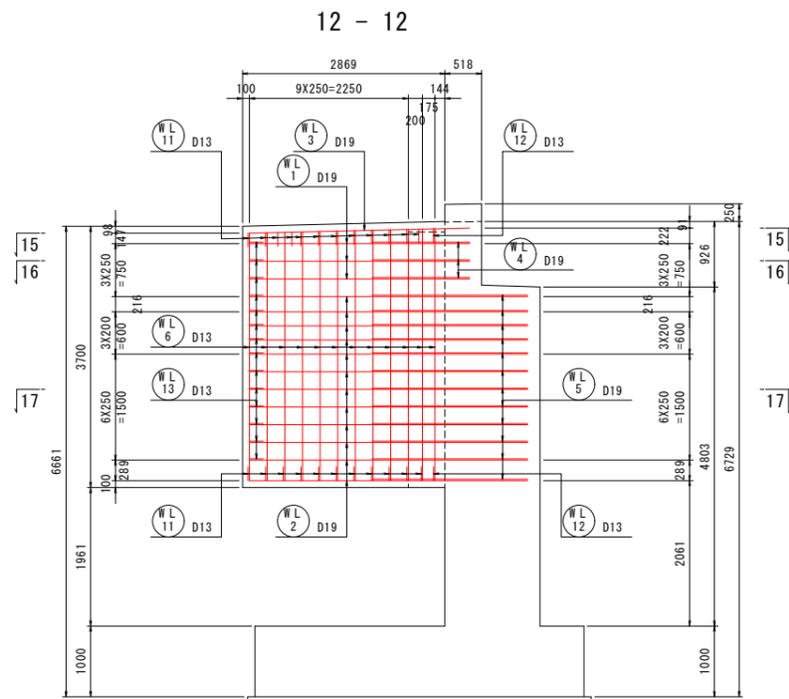
位置図



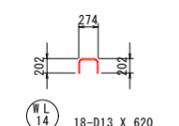
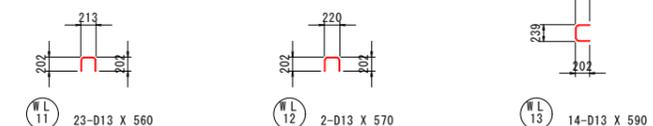
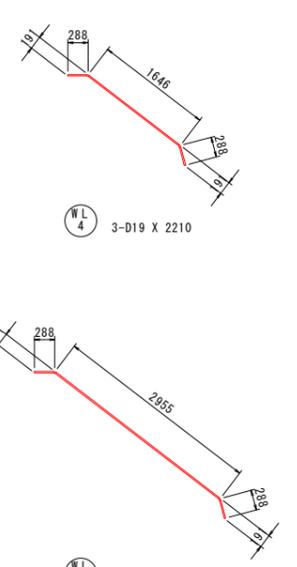
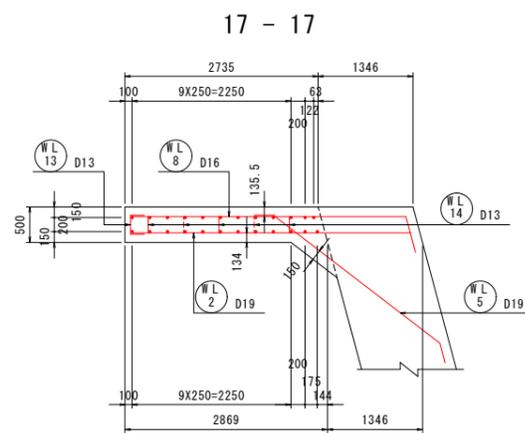
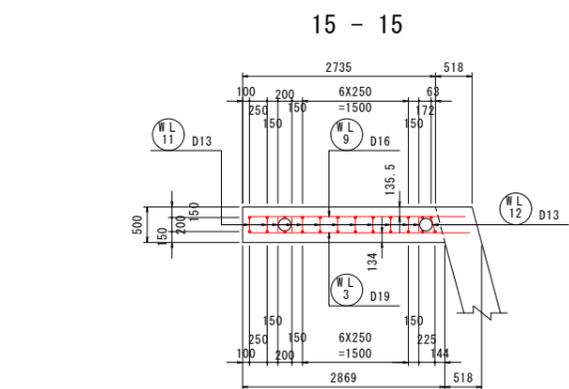
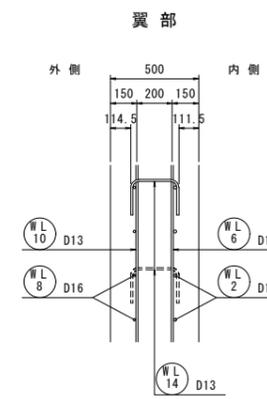
実施設計図面

工事名	R7 徳士 鬼籠野園府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)
路線名等	鬼籠野園府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)
図面名	A1橋台配筋図(5)
縮尺	S=図示 図面番号 10 / 15
会社名	
事業者名	東部県土整備局<徳島>

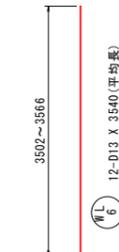
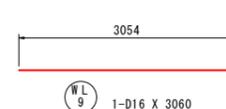
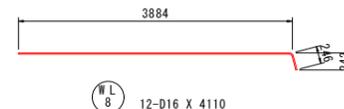
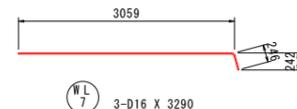
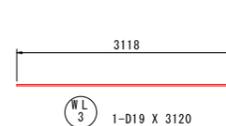
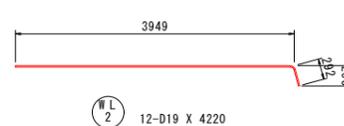
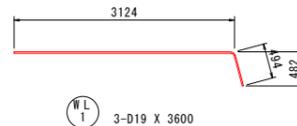
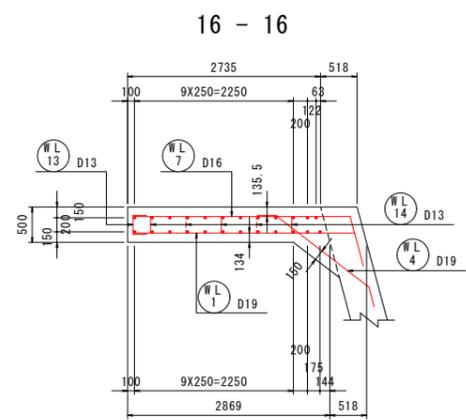
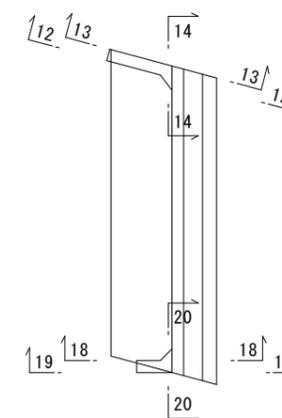
A1橋台配筋図(その6) S=1:50



かぶり詳細図 S=1:20



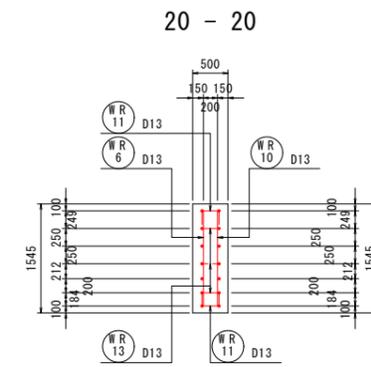
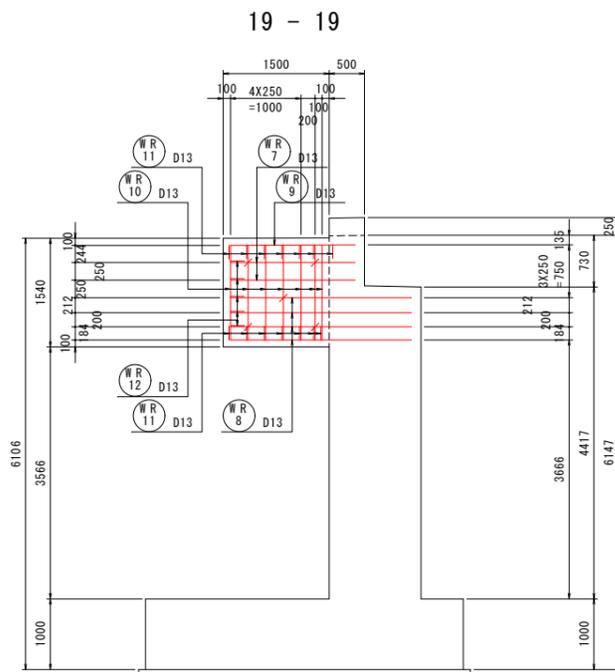
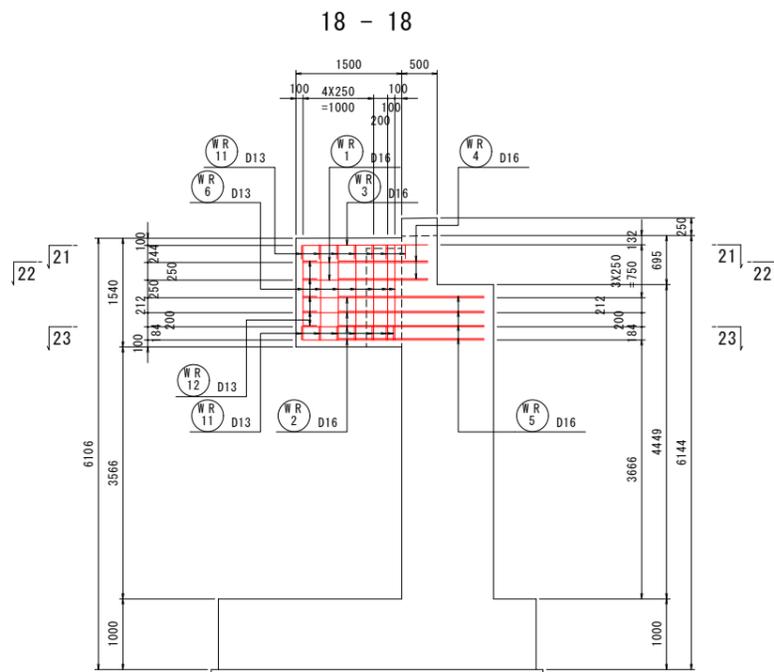
位置図



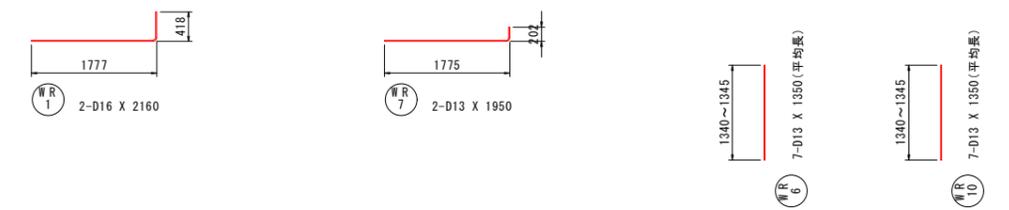
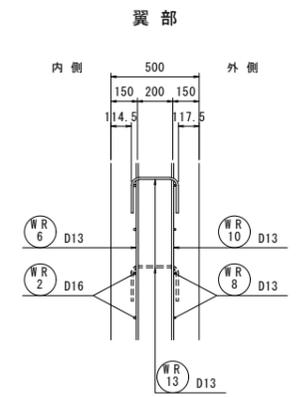
実施設計図面

工事名	R7 徳士 鬼籠野園府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)
路線名等	鬼籠野園府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野一ノ坂(第1分割)
図面名	A1橋台配筋図(6)
縮尺	S=図示 図面番号 11 / 15
会社名	
事業者名	東部県土整備局<徳島>

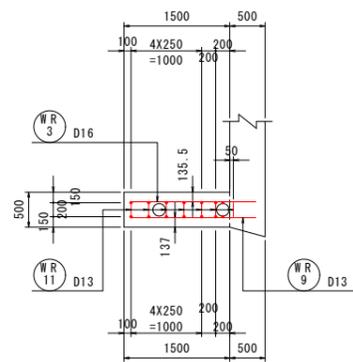
A1橋台配筋図(その7) S=1:50



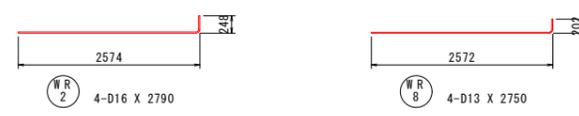
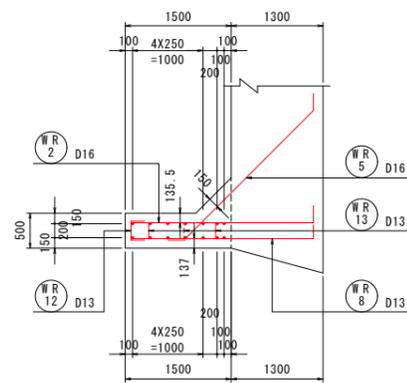
かぶり詳細図 S=1:20



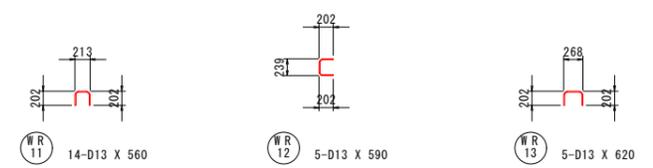
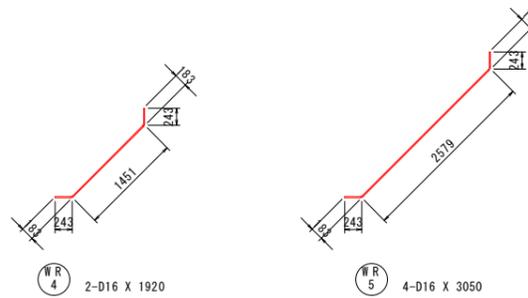
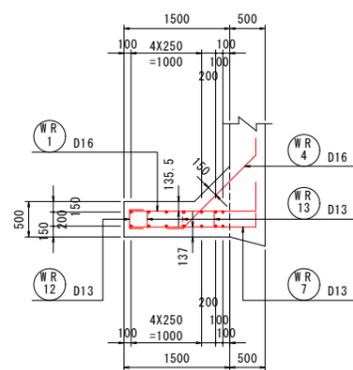
21 - 21



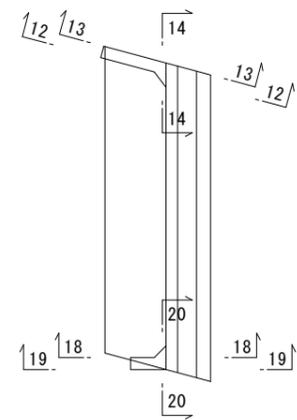
23 - 23



22 - 22



位置図

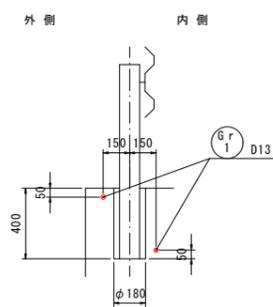


実施設計図面

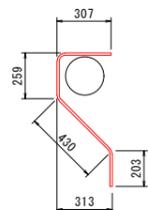
工事名	R7 徳士 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1)
路線名等	鬼籠野国府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)
図面名	A1橋台配筋図(7)
縮尺	S=図示 図面番号 12 / 15
会社名	
事業者名	東部県土整備局<徳島>

A1橋台配筋図(その8)

ガードレール補強筋 S=1:20



端部：4箇所



8-D13 X 1160

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P ₁	D22	2000	53	3.04	6.08	322	
P ₂	D22	2000	53	3.04	6.08	322	
P ₃	D19	3500	2	2.25	7.88	16	—
P ₄	D19	5500	1	2.25	12.38	12	—
P ₅	D16	10500	1	1.56	16.38	16	—
P ₆	D16	8500	1	1.56	13.26	13	—
P ₇	D16	4000	1	1.56	6.24	6	—
P ₈₋₁	D16	5500	1	1.56	8.58	9	—
P ₈₋₂	D16	8000	1	1.56	12.48	12	—
P ₉₋₁	D16	10000	2	1.56	15.60	31	—
P ₉₋₂	D16	3500	2	1.56	5.46	11	—
P ₁₀	D16	6690	1	1.56	10.44	10	—
P ₁₁₋₁	D16	10000	1	1.56	15.60	16	—
P ₁₁₋₂	D16	3500	1	1.56	5.46	5	—
P ₁₂	D13	560	51	0.995	0.56	29	—
P ₁₃	D13	570	2	0.995	0.57	1	—
P ₁₄	D13	470	27	0.995	0.47	13	※
844 kg							
J ₁	D16	450	46	1.56	0.70	32	—
J ₂	D16	230	46	1.56	0.36	17	—
49 kg							
G ₁	D13	1800	4	0.995	1.79	7	—
G ₂	D13	340	6	0.995	0.34	2	—
9 kg							
U ₁	D16	2170	36	1.56	3.39	122	—
U ₂	D16	2220	3	1.56	3.46	10	—
U ₃	D13	9220	4	0.995	9.17	37	—
U ₄	D25	500	9	3.98	1.99	18	—
187 kg							
H ₁	D16	1060	60	1.56	1.65	99	—
H ₂	D16	860	90	1.56	1.34	121	—
H ₃	D16	1300	30	1.56	2.03	61	—
281 kg							
T ₁	D16	800	56	1.56	1.25	70	—
T ₂	D16	870	14	1.56	1.36	19	—
89 kg							
A ₁	D22	5500	42	3.04	16.72	702	—
A ₂	D22	5000	10	3.04	15.20	152	—
A ₃	D16	5500	31	1.56	8.58	266	—
A ₄	D16	5000	21	1.56	7.80	164	—
A ₅₋₁	D16	9500	17	1.56	14.82	252	—
A ₅₋₂	D16	4970	17	1.56	7.75	132	—
A ₆₋₁	D16	9500	1	1.56	14.82	15	—
A ₆₋₂	D16	4980	1	1.56	7.77	8	—
A ₇	D16	7360	2	1.56	11.48	23	(平均長)
A ₈₋₁	D13	9500	17	0.995	9.45	161	—
A ₈₋₂	D13	4710	17	0.995	4.69	80	—
A ₉₋₁	D13	5000	1	0.995	4.98	5	—
A ₉₋₂	D13	9210	1	0.995	9.16	9	—
A ₁₀	D13	7050	2	0.995	7.01	14	(平均長)
A ₁₁	D16	5730	3	1.56	8.94	27	—
A ₁₂	D16	5320	3	1.56	8.30	25	—
A ₁₃	D13	1450	26	0.995	1.44	37	—
A ₁₄	D16	3000	54	1.56	4.68	253	—
A ₁₅	D16	3040	2	1.56	4.74	9	—
A ₁₆₋₁	D16	7000	3	1.56	10.92	33	—
A ₁₆₋₂	D16	7500	3	1.56	11.70	35	—
A ₁₇₋₁	D16	9500	2	1.56	14.82	30	—
A ₁₇₋₂	D16	5000	2	1.56	7.80	16	—
A ₁₈	D16	1290	107	1.56	2.01	215	※
A ₁₉	D16	1290	52	1.56	2.01	105	※
2768 kg							

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	103	-	-	-	-	-
D16	-	159	-	-	-	-
D19	-	-	-	-	-	-
D22	-	-	-	-	-	-
D25	-	-	-	-	-	-
D29	-	-	-	-	-	-
小計	103	159	-	-	-	-
合計	262					

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F ₁	D22	5700	53	3.04	17.33	918	—
F ₂	D29	4130	53	5.04	20.82	1103	—
F ₃	D16	1210	53	1.56	1.89	100	—
F ₄₋₁	D16	10000	17	1.56	15.60	265	—
F ₄₋₂	D16	3500	17	1.56	5.46	93	—
F ₅₋₁	D19	10000	11	2.25	22.50	248	—
F ₅₋₂	D19	3500	11	2.25	7.88	87	—
F ₆₋₁	D13	10000	3	0.995	9.95	30	—
F ₆₋₂	D13	3500	3	0.995	3.48	10	—
F ₇	D19	4860	6	2.25	10.94	66	—
F ₈₋₁	D19	8000	6	2.25	18.00	108	—
F ₈₋₂	D19	5500	6	2.25	12.38	74	—
F ₉	D13	1100	20	0.995	1.09	22	—
F ₁₀	D13	1090	4	0.995	1.08	4	—
F ₁₁	D13	980	63	0.995	0.98	62	—
F ₁₂	D13	960	13	0.995	0.96	12	—
3202 kg							
W _{L1}	D19	3600	3	2.25	8.10	24	—
W _{L2}	D19	4220	12	2.25	9.50	114	—
W _{L3}	D19	3120	1	2.25	7.02	7	—
W _{L4}	D19	2210	3	2.25	4.97	15	—
W _{L5}	D19	3520	12	2.25	7.92	95	—
W _{L6}	D13	3540	12	0.995	3.52	42	(平均長)
W _{L7}	D16	3290	3	1.56	5.13	15	—
W _{L8}	D16	4110	12	1.56	6.41	77	—
W _{L9}	D16	3060	1	1.56	4.77	5	—
W _{L10}	D13	3540	12	0.995	3.52	42	(平均長)
W _{L11}	D13	560	23	0.995	0.56	13	—
W _{L12}	D13	570	2	0.995	0.57	1	—
W _{L13}	D13	590	14	0.995	0.59	8	—
W _{L14}	D13	620	18	0.995	0.62	11	—
469 kg							
W _{R1}	D16	2160	2	1.56	3.37	7	—
W _{R2}	D16	2790	4	1.56	4.35	17	—
W _{R3}	D16	1770	1	1.56	2.76	3	—
W _{R4}	D16	1920	2	1.56	3.00	6	—
W _{R5}	D16	3050	4	1.56	4.76	19	—
W _{R6}	D13	1350	7	0.995	1.34	9	(平均長)
W _{R7}	D13	1950	2	0.995	1.94	4	—
W _{R8}	D13	2750	4	0.995	2.74	11	—
W _{R9}	D13	1770	1	0.995	1.76	2	—
W _{R10}	D13	1350	7	0.995	1.34	9	(平均長)
W _{R11}	D13	560	14	0.995	0.56	8	—
W _{R12}	D13	590	5	0.995	0.59	3	—
W _{R13}	D13	620	5	0.995	0.62	3	—
101 kg							
G _{T1}	D13	1160	8	0.995	1.15	9	—
9 kg							
合計							
	D29			1103		1103 kg	
	D25			18		18 kg	
	D22			2416		2416 kg	
	D19			866		866 kg	
	D16			2895		2895 kg	
	D13			710		710 kg	
総質量						8008 kg	

注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 1. 道路標示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

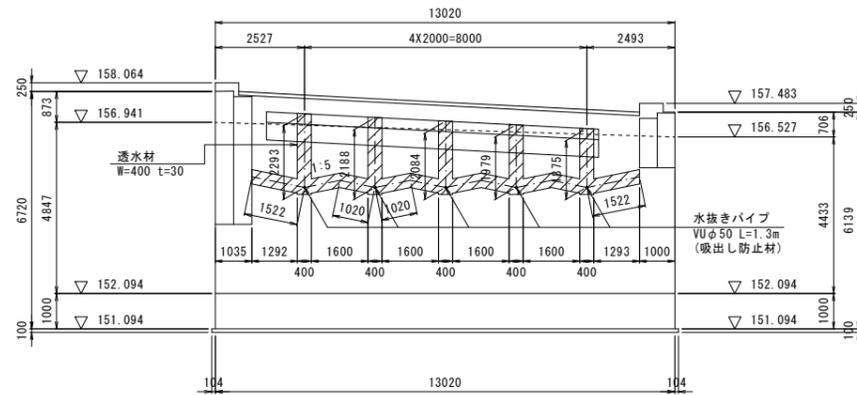
注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

実施設計図面

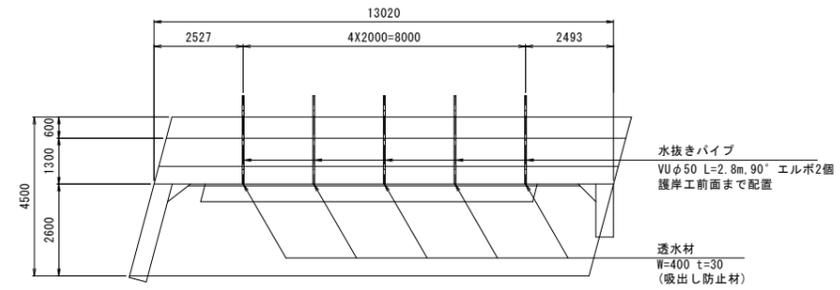
工事名	R7 徳士 鬼籠野国府線 神・鬼籠野ノ坂 橋梁下部工事(1)
路線名等	鬼籠野国府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字ノ坂(第1分割)
図面名	A1橋台配筋図(8)
縮尺	S=1:150 図面番号 13 / 15
会社名	
事業者名	東部県土整備局<徳島>

裏込め工詳細図 S=1:100

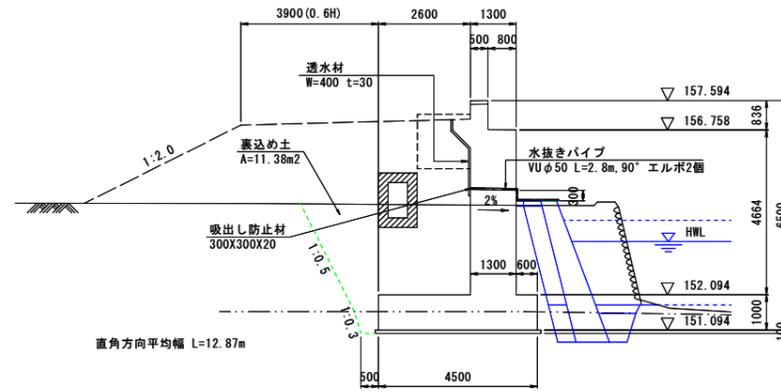
A1橋台
背面図



平面図



断面図



橋台背面アプローチ部の盛土材料の基準値

項目	範囲
最大粒径	100mm以下
4.750μm (NO. 4) ふるい通過質量百分率	25~100%
75μm (NO. 200) ふるい通過質量百分率	0~25%
塑性指数 (425μmふるい通過分について)	10以下

道路橋示方書-同解説 IV下部構造編- (公社)日本道路協会 平成29年11月 (2017年) P543

橋台背面の日常管理の基準値

仕上がり厚さ	締固め度 Dc
200mm以下	Dc>平均92% 最少90%

道路橋示方書-同解説 IV下部構造編- (公社)日本道路協会 平成29年11月 (2017年) P544

数量表

(A1橋台)

項目	種別	単位	数量	備考
透水材	W=400 t=30	m	21.6	
吸出し防止材	400X400X20	箇所	5	
水抜きパイプ (VUφ50)		m	14.0	
水抜きパイプ (90°エルボ)		個	10	
裏込め材		m ³	146.5	

特記 (橋台背面アプローチ部)

-橋台背面アプローチ部については、盛土材料、および締固め度は上表の条件に準じて施工を行う必要がある。
また、橋台背面部の土中に水が滞水しないように、排水工を設ける必要がある。

実施設計図面

工事名	R7 徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事 (1)
路線名等	鬼籠野国府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂 (第1分割)
図面名	裏込め工詳細図
縮尺	S=1:100 図面番号 14 / 15
会社名	
事業者名	東部県土整備局<徳島>

